

臨床心理学専攻

選択するクラスター	防災・危機管理
養成する人材像	臨床心理学とその関連領域に関する幅広い知識と論理的思考力を備え、心の健康の回復と保持増進の観点から、持続可能な社会の構築に貢献でき、かつ危機管理の基礎知識・基礎技能に立脚し、被災前の予防活動、被災後の心理ケアに貢献できる人材。
活躍できる職種・業種、就職先等	被害者支援センター、警察被害者支援室、研究職など。病院、児童相談所、学校、企業等の心理専門職・カウンセラーなど。

科目区分	年次	1年次		2年次		単位数計
		前期	後期	前期	後期	
学位論文指導 (10単位)		●臨床心理学特別演習②	●臨床心理学特別演習②	●臨床心理学特別演習②	●臨床心理学特別演習②	10
教育クラスター科目 (6単位以上)		学校臨床心理学特論②	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践② リスクコミュニケーション②	← 防災・危機管理と心理支援に関する基礎知識・技法を修得		6
専攻専門科目 (24単位以上)		●臨床心理学特論A② ●臨床心理学査定演習A② ●臨床心理学基礎実習A① 認知心理学特論②	●臨床心理面接特論A② ●臨床心理学基礎実習B① 行動科学② 精神医学特論②	●臨床心理面接特論B② ●臨床心理学査定演習B② ●臨床心理学実習A① 心理療法特論②	●臨床心理学特論B② ●臨床心理学実習B①	24
研究科共通科目 (4単位以上)		●データサイエンス② 国際協力論① 科学技術論A①				4
						44

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。

臨床心理学専攻

選択するクラスター	メディカルサイエンス
養成する人材像	臨床心理学とその関連領域に関する幅広い知識と論理的思考力を備え、心の健康の回復と保持増進の観点から、持続可能な社会の構築に貢献でき、かつ医学・工学の基礎知識・基礎技能に立脚し、技術を活用した医療・健康の保持増進に貢献できる人材。
活躍できる職種・業種、就職先等	精神科病院、総合病院、研究職など。病院、児童相談所、学校、企業等の心理専門職・カウンセラーなど。

科目区分	年次	1年次		2年次		単位数計
		前期	後期	前期	後期	
学位論文指導 (10単位)		●臨床心理学特別演習②	●臨床心理学特別演習②	●臨床心理学特別演習②	●臨床心理学特別演習②	10
教育クラスター科目 (6単位以上)		心の健康教育に関する理論と実践②	ヒューマンセンシング② 生体工学特論②	← 工学技術を生かした医療と心理支援に関する基礎知識・技法を修得		6
専攻専門科目 (24単位以上)		●臨床心理学特論A② ●臨床心理学査定演習A② ●臨床心理学基礎実習A① 認知心理学特論②	●臨床心理面接特論A② ●臨床心理学基礎実習B① 行動科学② 精神医学特論②	●臨床心理面接特論B② ●臨床心理学査定演習B② ●臨床心理学実習A① 心理療法特論②	●臨床心理学特論B② ●臨床心理学実習B①	24
研究科共通科目 (4単位以上)		●データサイエンス② 国際協力論① 科学技術論A①				4
						44

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。

臨床心理学専攻

選択するクラスター	ロボティクス・人間支援
養成する人材像	臨床心理学とその関連領域に関する幅広い知識と論理的思考力を備え、心の健康の回復と保持増進の観点から、持続可能な社会の構築に貢献でき、かつ福祉や生産に関わるロボティクスの基礎知識・基礎技能に立脚し、心理学的観点から福祉・産業領域における心理的支援に貢献できる人材。
活躍できる職種・業種、就職先等	福祉施設、企業、研究職など。病院、児童相談所、学校、企業等の心理専門職・カウンセラーなど。

科目区分	1年次		2年次		単位数計
	前期	後期	前期	後期	
学位論文指導 (10単位)	●臨床心理学特別演習②	●臨床心理学特別演習② ●臨床心理分野横断セミナー②	●臨床心理学特別演習②	●臨床心理学特別演習②	10
教育クラスター科目 (6単位以上)	●認知心理学特論②	産業・労働分野に関する理論と支援の展開② ●ロボティクス特論②	●臨床心理学特別演習②	●臨床心理学特別演習②	6
専攻専門科目 (24単位以上)	●臨床心理学特論A②	●臨床心理面接特論A②	●臨床心理面接特論B②	●臨床心理学特論B②	24
	●臨床心理査定演習A②	●臨床心理基礎実習B①	●臨床心理査定演習B②	●臨床心理実習B①	
	●臨床心理基礎実習A①	行動科学②	●臨床心理実習A①		
	社会心理学特論②	精神医学特論②	心理療法特論②		
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス②				4
	国際協力論A				
	科学技術論A①				
					44

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。

臨床心理学専攻

選択するクラスター	防災・危機管理
養成する人材像	臨床心理学とその関連領域に関する幅広い知識と論理的思考力を備え、心の健康の回復と保持増進の観点から、持続可能な社会の構築に貢献でき、かつ危機管理の基礎知識・基礎技能に立脚し、被災前の予防活動、被災後の心理ケアに貢献できる人材。
活躍できる職種・業種、就職先等	被害者支援センター、警察被害者支援室、研究職など。病院、児童相談所、学校、企業等の心理専門職・カウンセラーなど。

科目区分	1年次		2年次		単位数計
	前期	後期	前期	後期	
学位論文指導 (10単位)	●臨床心理学特別演習②	●臨床心理学特別演習② ●臨床心理分野横断セミナー②	●臨床心理学特別演習②	●臨床心理学特別演習②	10
教育クラスター科目 (6単位以上)	●学校臨床心理学特論②	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践② ●リスコミュニケーション②	●臨床心理学特別演習②	●臨床心理学特別演習②	6
専攻専門科目 (自由科目) ※公認心理師受験資格 を得るために必要		心理実践実習Ⅰ① 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開②	心理実践実習Ⅲ① 心理実践実習Ⅳ① 心理実践実習Ⅴ① 心理実践実習Ⅵ① 心の健康教育に関する理論と実践② 産業・労働分野に関する理論と支援の展開②	心理実践実習Ⅲ① 心理実践実習Ⅳ① 心理実践実習Ⅴ① 心理実践実習Ⅵ① 障害臨床心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)②	17
専攻専門科目 (24単位以上)	●臨床心理学特論A② ●臨床心理査定演習A② ●臨床心理基礎実習A① ●認知心理学特論②	●臨床心理面接特論A② ●臨床心理基礎実習B① 行動科学② 精神医学特論②	●臨床心理面接特論B② ●臨床心理査定演習B② ●臨床心理実習A① 心理療法特論②	●臨床心理学特論B② ●臨床心理実習B①	24
研究科共通科目 (4単位以上)	●データサイエンス② 国際協力論① 科学技術論A①				4
					61

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。

修士課程2年生の履修モデル(臨床心理学専攻)(案)

前期	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	前期集中
1・2講時 (8:40-10:10)	心理実践実習 VI: 学外実習(保健医療7時間)				心理実践実習 VI: 学外実習(保健医療7時間)	心理実践実習 VI: 学外実習(保健医療7時間)
3・4講時 (10:25-11:55)						
12:00-12:45						
5・6講時 (12:50-14:20)						
7・8講時 (14:35-16:05)						
9・10講時 (16:20-17:50)						
11・12講時 (18:00-19:30)	臨床心理 面接特論B	心理実践実習III: ケースに関するSV	臨床心理 実習A	臨床心理 査定演習B		心理療法特論
13・14講時 (19:40-21:10)				臨床心理的 地域援助特論		

後期	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	後期集中
1・2講時 (8:40-10:10)	心理実践実習 IV: 学外実習(保健医療7時間)		心理実践実習V: 学外実習(教育7時間)			産業・労働分野に関する 理論と支援の展開
3・4講時 (10:25-11:55)						
12:00-12:45						
5・6講時 (12:50-14:20)						
7・8講時 (14:35-16:05)						
9・10講時 (16:20-17:50)						
11・12講時 (18:00-19:30)		心理実践実習III: 学 内ケース(月1回16: 30~)	臨床心理 実習B/心理実践 実習II	臨床心理 学特論B	心理実践実習 III: ケースに関す るSV	家族関係・集団・地域社 会における心理支援に 関する理論と実践
13・14講時 (19:40-21:10)		心理実践実習III: 学 内ケース(隔週1回 19時~)				

※クライアントの面接構造や実習施設, 担当教員の指導可能日などによって, 実習時間・形態は大きく異なり, 実際は柔軟なスケジュールの対応が求められる。そのため, 上記はあくまでも目安として作成されている

令和2年度(2020年度) 臨床心理学専攻 時間割 (前期)(案)

(前期)

前	月 曜			火 曜			水 曜			木 曜			金 曜			前
	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	
1・2 (8:40 10:10)	2年 ② 心理実践実習Ⅳ	山本真由美 他	ゼミ3	1年 科学技術論C(1Q)	木下和彦 獅々堀正幹 他	K202	2年 ② 心理実践実習Ⅴ	山本真由美 他	ゼミ3				2年 ② 心理実践実習Ⅲ	山本真由美 他	ゼミ3	
	1年 科学技術論B	今田泰嗣 杉山茂 他	K202	1年 科学技術論D(1Q)	鳥本隆口 下村直行 他	K202							1年 科学技術論E	山中英生 鎌田磨人 他	K402	
	1年 科学技術論A	山中英生 鎌田磨人 他	K202													
3・4 (10:25 11:55)										1年 グローバル社会文化論	荒武達朗 高橋晋一 依岡隆規 他	けやき ホール				
5・6 (12:50 14:20)	1年 国際協力論	内藤直樹 齋場和彦	301	12年 デザイン思考演習	寺田賢治 金井純子 他	K503				12年 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	大森哲郎 (山本真由美)	(医) 青藍講堂				
7・8 (14:35 16:05)							1年 グローバルコミュニケーションA	ステイアンス・メリディス 三隅友子	306	2年 ② 心理実践実習Ⅵ	山本真由美 他	ゼミ3				
							2年 ② 心理実践実習Ⅴ(16:20まで)	山本真由美 他	ゼミ3							
9・10 (16:20 17:50)	2年 ② 心理実践実習Ⅳ(17:05まで)	山本真由美 他	ゼミ3							2年 ② 心理実践実習Ⅵ(17:05まで)	山本真由美 他	ゼミ3	1年 データサイエンス	齋藤隆仁 石田基広 他	未定	
													2年 ② 心理実践実習Ⅲ(17:05まで)	山本真由美 他	ゼミ3	
11・12 (18:00 19:30)	1年 ① 臨床心理基礎実習A(20:25まで)	佐藤健二 他	307				2年 ② 臨床心理実習A(20:25まで)	山本真由美 他	308	1年 ① 臨床心理査定演習A	山本真由美 佐藤健二 山本哲也	ゼミ3	12年 ● 認知心理学特論(隔年R3)	佐藤裕	303	
	2年 ② 臨床心理面接特論B	福森崇貴 山本哲也	ゼミ2							2年 ② 臨床心理査定演習B	福森崇貴 甲田宗良	ゼミ2	12年 ● 認知心理学特論演習(隔年R2)	佐藤裕	303	
13・14 (19:40 21:10)				1年 ① 臨床心理学特論A	山本真由美 佐藤健二	ゼミ3				12年 ● 臨床心理的地域援助特論(隔年R2)	横谷謙次	309	12年 ● 社会心理学特論(隔年R2)	佐藤健二	309	

(注1)「臨床心理学特別演習」(12年, 学位論文指導科目, 担当者:臨床心理学専攻指導教員)の開講曜日・講時は, 担当教員・受講生で相談の上決定する。教室は各教員研究室。

(注2)赤字は研究科共通科目, 黒字は専攻専門科目, 緑字は学位論文指導科目を表す。

(注3)「心理実践実習I~IV」は450時間の実習を時間割上に便宜的に配置したものであり, 実際は, 学生毎に異なるスケジュールとなる。

前 期 集 中			前 期 集 中		
科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
12年 ● 障害臨床心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)(隔年)	島治伸(非)	309	12年 グローバルコミュニケーションB	安澤幹人 コインカー・バン カジ	未定
12年 ● 心理療法特論(隔年)	福森崇貴 佐藤寛(非)	303	12年 グローバルコミュニケーションC	安澤幹人 コインカー・バン カジ 他	未定
12年 ● 学校臨床心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)(隔年)	内海千穂 上岡義典(非)	306			

令和2年度(2020年度) 臨床心理学専攻 時間割 (後期)(案)

(後期)

前	月 曜			火 曜			水 曜			木 曜			金 曜			前
	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室	
1・2 (8:40 10:10)										2年 ② 心理実践実習Ⅵ	山本真由美 他	ゼミ3	2年 ② 心理実践実習Ⅲ	山本真由美 他	305	1・2 (8:40 10:10)
3・4 (10:25 11:55)				2年 ② 心理実践実習Ⅳ(11:10 まで)	山本真由美 他											3・4 (10:25 11:55)
5・6 (12:50 14:20)	2年 ② 心理実践実習Ⅳ	山本真由美 他	ゼミ3													5・6 (12:50 14:20)
7・8 (14:35 16:05)				1年 ビジネスモデル特論	山中英生 森卓史 笹尾知世	未定										7・8 (14:35 16:05)
9・10 (16:20 17:50)													2年 ② 心理実践実習Ⅲ(17:05 まで)	山本真由美 他	305	9・10 (16:20 17:50)
11・12 (18:00 19:30)	1年 ① 臨床心理基礎実習B(20: 25まで)	佐藤健二 他	307	1年 ① 臨床心理分野横断セミ ナー	佐藤健二 山本哲也	307	2年 ② 臨床心理実習B(20:25 まで)	山本真由美 他	308	1年 ① 臨床心理面接特論A	内海千種 山本哲也	307	1年 ① 心理実践実習Ⅰ(17:05 ～)	山本真由美 他	ゼミ6	11・12 (18:00 19:30)
13・14 (19:40 21:10)				2年 ② 心理実践実習Ⅴ	山本真由美 他	ゼミ3				2年 ② 臨床心理学特論B	山本真由美 佐藤健二	ゼミ2	2年 ② 心理実践実習Ⅵ(20:25 まで)	山本真由美 他	ゼミ3	13・14 (19:40 21:10)

(注1)「臨床心理学特別演習」(12年、学位論文指導科目、担当者:臨床心理学専攻指導教員)の開講曜日・講時は、担当教員・受講生で相談の上決定する。教室は各教員研究室。

(注2)赤字は研究科共通科目、黒字は専攻専門科目、緑字は学位論文指導科目を表す。

(注3)「心理実践実習I~IV」は450時間の実習を時間割上に便宜的に配置したものであり、実際は、学生毎に異なるスケジュールとなる。

後 期 集 中			後 期 集 中		
科目名	担当者	教室	科目名	担当者	教室
12年 ● 生涯発達心理学特論(隔年)	山本真由美	303	12年 グローバルコミュニケー ションB	安澤幹人 コインカー、 バンカジ	未定
12年 ● 犯罪心理学特論(司法・犯 罪分野に関する理論と支 援の展開)(隔年)	小坂清文 (非)		12年 グローバルコミュニケー ションC	安澤幹人 コインカー、 バンカジ	未定 他
12年 ● 産業・労働分野に関する 理論と支援の展開(隔年)	甲田宗良 未定(非)	306			
12年 ● 家族心理学特論(家族関 係・集団・地域社会におけ る心理支援に関する理論 と実践)(隔年)	横谷謙次	305			
12年 ● 心の健康教育に関する理 論と実践(隔年)	津村秀樹	309			

臨床心理学専攻 研究指導・論文審査の標準的なスケジュール

学年	学期	時期	内容	備考
1年	前期	4月上旬	新入生オリエンテーション・履修ガイダンス	専攻の研究指導体制、及び修了までの研究指導スケジュールについて説明する。
		4月上旬	指導教員の決定	主指導教員と面談の上、副指導教員1名、アドバイザー教員1名を定め、研究科長に届け出る。
		4月上旬	研究テーマの決定、研究計画の立案、研究計画書の作成着手	学生は指導教員と十分相談の上、研究テーマを決定し、研究計画書の作成に着手する。指導教員は、研究の背景、先行研究を踏まえた研究の位置づけ、研究目的、研究方法、研究計画、研究にかかる倫理的配慮等、研究のデザインについて指導、確認する。
		6月下旬	研究計画書の提出	学生は、指導教員と相談の上確定した研究計画書を研究科長に提出する。
		6月下旬～(通年)	研究計画に基づく研究の実行、指導	作成した研究計画を踏まえ、研究を進める。指導教員に定期的に研究経過を報告し、適切な指導・助言を受ける。状況に応じて、柔軟に研究計画の見直し・修正を図る。
	後期	2月	修士論文中間発表会（公聴会形式）	専攻の修士論文中間発表会を公聴会形式で開催する。指導教員は、学生の研究経過における成果や発表内容について問題点等を指摘し、適宜助言を与える。状況に応じて、柔軟に研究計画の見直し・修正を図る。
2年	前期	3月～4月上旬	研究計画の見直し	研究の進捗状況に応じて、指導教員と相談しつつ適宜研究計画を見直す。あわせて、研究計画書の修正版の作成を進める。
		4月下旬	研究計画書（修正版）の提出	学生は、指導教員と相談の上確定した研究計画書（修正版）を研究科長に提出する。
		4月下旬～(通年)	研究計画に基づく研究の実行、指導	作成した研究計画を踏まえ、研究を進める。指導教員に定期的に研究経過を報告し、適切な指導・助言を受ける。状況に応じて、柔軟に研究計画の見直し・修正を図る。
		7月～1月	修士論文の構成検討・作成、指導	学生はこれまでの研究成果をもとに修士論文の構成を検討し、作成に着手する。随時指導教員の指導・助言（論文草稿のチェックを含む）を受け、草稿を修正、修士論文にまとめ上げる。
	後期	2月上旬	修士論文提出	学生は必要書類（学位申請書、履歴書等）を添えて、修士論文を研究科長に提出する。
		2月上旬	論文審査委員会の組織	研究科教授会は、申請者ごとに審査委員会を組織し、論文審査及び最終試験の実施を付託する。
		2月上旬～下旬	修士論文の審査	審査委員会は論文審査及び最終試験を行い、その結果を、文書をもって研究科長に報告する。また、審査の段階において、修士論文の公聴会を開催する。
		2月中旬	修士論文発表会（公聴会形式）	専攻の修士論文発表会を公聴会形式で実施、学生は最終的な研究成果を報告する（修士論文審査の公聴会に相当）。
		2月下旬	課程修了の審議	研究科教授会は、審査委員会による論文審査及び最終試験の報告に基づき、課程修了の可否を審議する。審議結果は速やかに学長に報告する。
		3月下旬	修士課程の修了及び学位の授与	学長は、研究科教授会の判定結果に基づき学生の課程修了を認定し、修士の学位を授与する。

徳島大学大学院社会産業理工学研究部社会総合科学域研究倫理委員会規則

平成29年4月1日

大学院社会産業理工学研究部長制定

(設置)

第1条 徳島大学大学院社会産業理工学研究部社会総合科学域（以下「学域」という。）に、学域の教員、総合科学部学生及び大学院総合科学教育部学生が行う人を対象とする研究の適正な実施を図るため、徳島大学大学院社会産業理工学研究部社会総合科学域研究倫理委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(審査事項)

第2条 委員会は、学域、総合科学部及び大学院総合科学教育部で行う人を対象とする研究（徳島大学及び徳島大学の各部局等に置かれる倫理審査委員会等の所掌に係るものを除く。）に関し、研究の対象となる個人（以下「被験者」という。）の尊厳が護られ、人権の尊重その他の倫理的観点、社会的観点及び科学的観点から研究計画とその実施の適否を審査する。

(組織)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 各系から選出された教員 各1名
- (2) 学域と利害関係を有しない自然科学の有識者 1名
- (3) その他研究部長が必要と認める者 2名

2 委員のうち2人以上は、学域以外から選出するものとする。

3 委員は、男女両性で構成するものとする。

4 委員は、研究部長が命じ、又は委嘱する。

(任期)

第4条 前条第1項第1号及び第2号の委員の任期は、2年とする。ただし、委員が任期の途中で欠員となった場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前条第1項第3号の委員の任期は、2年を超えない範囲で研究部長が定める期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、その選出は委員の互選とする。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、次の各号に掲げる要件を満たさなければ会議を開くことができない。

(1) 第3条第1項第1号の委員のうち2名以上出席していること

(2) 第3条第1項第2号及び第3号の委員が出席していること

(3) 男女両性の委員が出席していること

2 審査対象となる研究計画の実施責任者(当該研究を代表する者をいう。ただし、当該研究を代表する者が学生である場合には指導教員をいう。以下同じ。)又は研究分担者の委員は、当該研究計画の審査に関与してはならない。ただし、委員会の求めに応じて会議に出席し、説明することを妨げない。

3 委員会が必要と認めるときは、実施責任者の出席を求め、申請内容等について説明させることができる。

4 委員会が必要と認めるときは、会議に委員以外の者に出席を求めて説明又は意見を聴くことができる。

(審査)

第7条 委員会が実施する審査について必要な事項は、研究部長が別に定める。

(秘密保持義務)

第8条 委員は、職務上知ることのできた秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会について必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 この規則施行後に、最初に選出される第3条第1項第1号の委員のうち、人間科学系及び公共政策系から選出された委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成30年3月31日までとする。